

葛西臨海たんけん隊
「海洋教育プログラム」実施報告書
(神奈川県平塚市立大原小学校)

2013年12月4日実施

一般社団法人 葛西臨海・環境教育フォーラム事務局作成

大原小学校の総合的な学習の時間についての年間計画と 「葛西臨海たんけん隊プログラム」の位置づけについて

『環境を守り隊』の中の小単元「水について知ろう(全14時間)」の学習中「海水や海で生きる生物について知ろう」という単元を設け、そこに対応する形で「葛西臨海たんけん隊出前授業」を実施する。

本授業のねらい

今回の授業で、海には様々な生物がいることを知り、その生物のためにも、そして自分達人間のためにも、『海を大切にしていきたい』という思いをもち、ひいては『地球の環境を守っていきたい』という気持ちを育てていきたい。

本で調べたり、話を聞いたりするだけでなく、実際の活動を通して学んでいくことで児童の興味関心を引き起こし、学習を深めたい。

→この「水について知ろう」を総括するための単元「水についてまとめよう(全4時間)」を設けそれまでの学習の総括を実施する。その延長で「もっと調べよう(12時間)」ということでテーマごとにグループ学習を実施。

→さらに学年最後に「まとめ」として身近な環境とそこで起きている環境問題について理解を深め、自分にできることを考えてもらう。

プログラム概要

■対象：神奈川県平塚市立大原小学校4年生（2クラス25名＋25名の計50名）
上記に加え、特別支援級の児童2人と湘南養護学校より居住地交流にくる児童1人が加わり総計53名。

■実施日時：2013年12月4日（水）
3時限目（10時40分～11時25分）と4時限目（11時30分～12時25分）

■タイトル
海のモンスターを探せ！

■テーマ
海の中には見たことのない生きものがたくさんいる。

■ねらい
チリメンモンスターという多くの種類の生きものが海にいることを知り、また生態系におけるチリモン達の役割を知ることによって海の生きものに親しみを感じてもらい、また海を大切にしたいという気持ちを持ってもらう。

■達成目標

- ①チリモンの簡単な形態分類ができるようになる。
- ②お気に入りのチリモンを1つ紹介できるようになる。
- ③チリモンが海の中でどんな役割を持っているのか分かるようになる。

■体制：
馬渡和華・根本真弓・村山敬洋（以上インタープリター）、脇坂綾（インターン）、宮嶋隆行（事務局）

はじめに



(左上)4年1組担任大久保先生から「葛西臨海たんけん隊」のご紹介



(上・右)葛西臨海・環境教育フォーラム事務局宮嶋より、葛西臨海たんけん隊、東京湾や葛西臨海公園、相模湾についての説明。

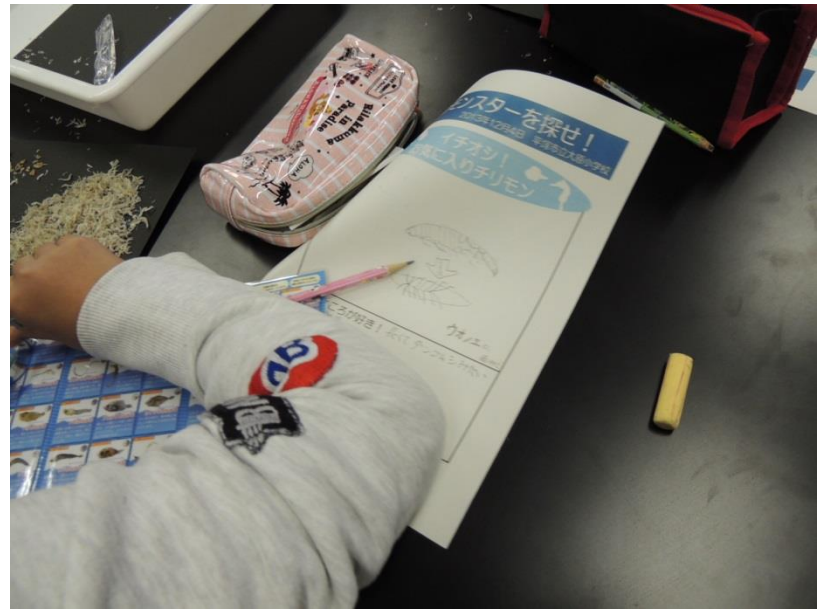
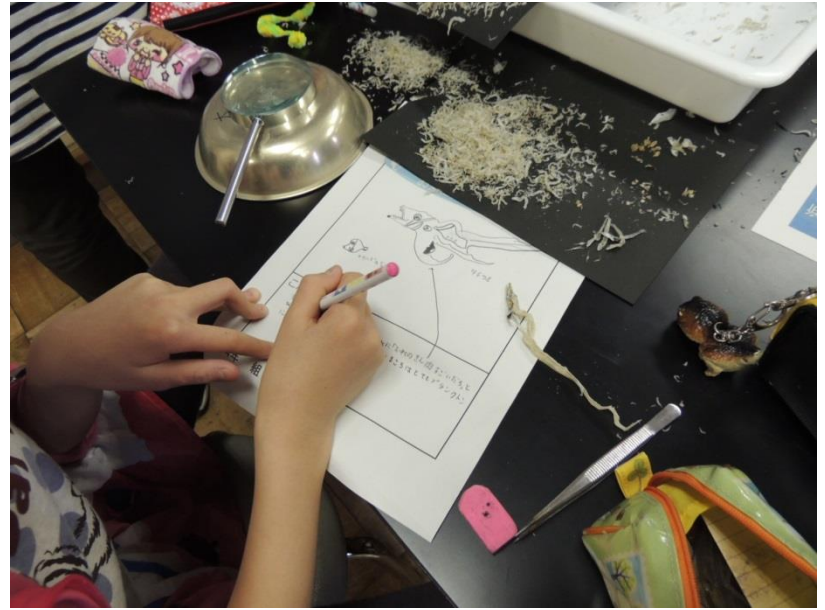
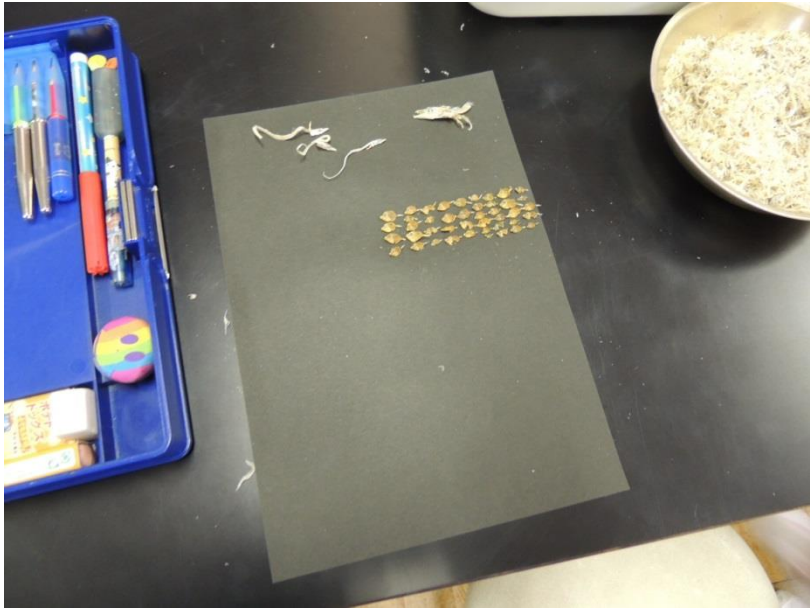
導入～観察開始

メインインタプリター馬渡より「モンスターで思い浮かぶもの」と「海のモンスターで思い浮かぶもの」を問いかけたのち、「チリモン」の分類。それぞれ片手一杯のチリモンを自分のお皿に移してもらい、5分間の観察で何種類のチリモンが見つかるか。



観察～スケッチ





解説

「チリモン」とはプランクトン、魚などであり、その役割は食物連鎖の下層部で高次生物を支えているといった、生物多様性と食物連鎖などをわかりやすく解説。



最後に

班ごとに「自分が一番興味を持ったチリモン」を発表しあい、最後に手を挙げてくれた子はみんなの前で発表。

